

# 読賣新聞

2011年(平成23年)

5月24日 火曜日

## 許さない 被災地の性犯罪

啓発カード5万5000枚



被災地で配布されているメッセージカード

災害による生活環境の悪化や混乱の中、女性や子どもを性暴力から守ろうと、女性支援団体などが、防犯上の注意点や被害時のひらサイズのメッセージカード5万5000枚を作製、宮城、岩手、福島避難所などに配っている。

性被害者支援などに取り組みグループでつくる「震災後の女性・子ども応援プロジェクト」(東京)など3団体が協力して作製。「一人でいる人を見守り、声をかけ合いましよう」「明るいうちに、安心できるところに帰ろう」などと被災地で安全に過ごすための心構えを記載した。

性暴力やDVについて、24時間体制で専門スタッフが対応する無料電話「パール・ホットライン」(0120-941-826)や、看護師からアドバイスを受けられるメール相談(0874helpsa@gmail.com)も載せ、支援物資に添えるなどして現地に届けている。

事務局によると、震災後、被災者だけでなく、女性ボランティアが車で連れ去られそうになったという被害情報もあるといい、防犯グッズの携行や複数人での行動を心掛けるよう注意を呼びかけている。

同プロジェクト共同代表の中野宏美さん(34)は「被災地での生活は我慢を強いられることも多いが、まず